

ヒマラヤ山脈の中心にある  
ネパール（現在、2015年  
までは連邦民主共和国）は积  
迦（仏陀）誕生の地であり、  
美しい景観と豊かな文化遺産  
で知られています。しかし、  
ネパールはその風光明媚な美  
しさの一方、新たな飛躍の機  
会とモザイクのように複雑に絡む経済的・社会的課題と格  
闘しています。ネパールは、  
国際的ベンチャー企業との協  
働により、経済的・社会的に  
大きな変貌に直面しつつあり  
ます。

この発展に貢献する経営コ  
ンサルタントの一人として、

ヒマラヤ山脈の中心にある  
ネパール（現在、2015年  
までは連邦民主共和国）は积  
迦（仏陀）誕生の地であり、  
美しい景観と豊かな文化遺産  
で知られています。しかし、  
ネパールはその風光明媚な美  
しさの一方、新たな飛躍の機  
会とモザイクのように複雑に絡む経済的・社会的課題と格  
闘しています。ネパールは、  
国際的ベンチャー企業との協  
働により、経済的・社会的に  
大きな変貌に直面しつつあり  
ます。

## ナビゲーター↑

# 日本への期待 世界各地から

其  
70

急成長する経済の強化のため  
に、知識、技術、成功事例の  
移転を促進することが、私の  
役割です。このコラムでは、  
ネパール経済と社会の現状を  
掘り下げ、潜在的な投資家や  
国際的な利害関係者に洞察を  
提供したいと考えます。

経済構造としては、伝統的  
な農業基盤から、より多様な  
構造へと変貌しつつあります。  
農業は依然として国のGDP  
の大半を雇用していますが、  
(注記、就業人口の約7割、  
GDPは約3割を農業関連が

## ネパールから(上)

占める)、サービスや観光などの産業分野が増加傾向にあります。

2015年の地震とコロナ禍による一時的な停滞にもかかわらず、GDPは2023年に回復し始めたが、依然として経済は脆弱（ぜいじやく）です。残念なことです。が、海外からの送金はGDPの約4分の1を占めていて、世界的な変動に対するネパール経済の過剰な反応が浮き彫りになっています。カタール、サウジアラビア、ヨーロッパ諸国、日本などへ労働力が広く移動していることは、経済的利益をもたらすとともに、頭脳流出にも大きくなっています。

政治的な不安定さは、頻繁な政権交代に象徴されます。それが、経済の発展を妨げ、外國の投資家にとって不透明な環境を作り出しています。連邦制への移行はよく考えたうえでのこととはいえ、政策の執行と資源配分を複雑にします。

が、この多様性が課題にもなっています。カーストに基づく差別やジェンダーの不平等問題が深く根付いています。政治やその他の分野

# 社会的背景と経済の現状と挑戦

に女性の参画が進むなど改善が進むものの、教育、医療、女性や社会的に底辺に近いコミュニティに対する経済的機会には、大きな格差が残っています。

長方形でない）。加えて、インフラ整備の遅れとエネルギー不足の繰り返しが、産業の成長と市場参入を妨げています。内陸国であるため、重要な移動経路と物資の供給を近づけて、とくに農村部ではまだ不十分です。識字率は約67%で、都市と農村での格差が大きくなっています。健康指標は進歩しているものの、公衆衛生インフラは人口増加に対応するのに苦労しています。

が、この多様性が課題にもなっています。カーストに基づく差別やジェンダーの不平等問題が深く根付いています。政治やその他の分野

【ローシャン・クマール、  
リーム中産連】

(月曜日に掲載)